

2007年3月期決算説明資料

2007年5月
小野建株式会社

CONTENTS

- ・ 2007年3月期決算の概況
- ・ 連結損益計算書・セグメント別販売計画
- ・ 連結貸借対照表・販管費・設備投資・減価償却
- ・ 2008年3月期展望・戦略・中期計画

将来の見通しに関する注意事項

資料に記載されている内容につきましては、種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。

2007年3月期総括 前期および計画との差異

- 鉄鋼商品の価格転嫁と工事物件の完工が順調に進んだことにより、下期計画を大幅に上回り増収増益

	07/3上期 実績	07/3下期 実績	07/3下期 計画	07/3通期 実績	07/3通期 計画
売上高	58,986	73,672	62,080	132,658	121,066
売上総利益	4,387	5,157	4,293	9,544	8,680
営業利益	1,985	2,938	2,100	4,923	4,085
経常利益	2,071	3,041	2,197	5,112	4,268
当期純利益	913	1,503	1,272	2,416	2,185

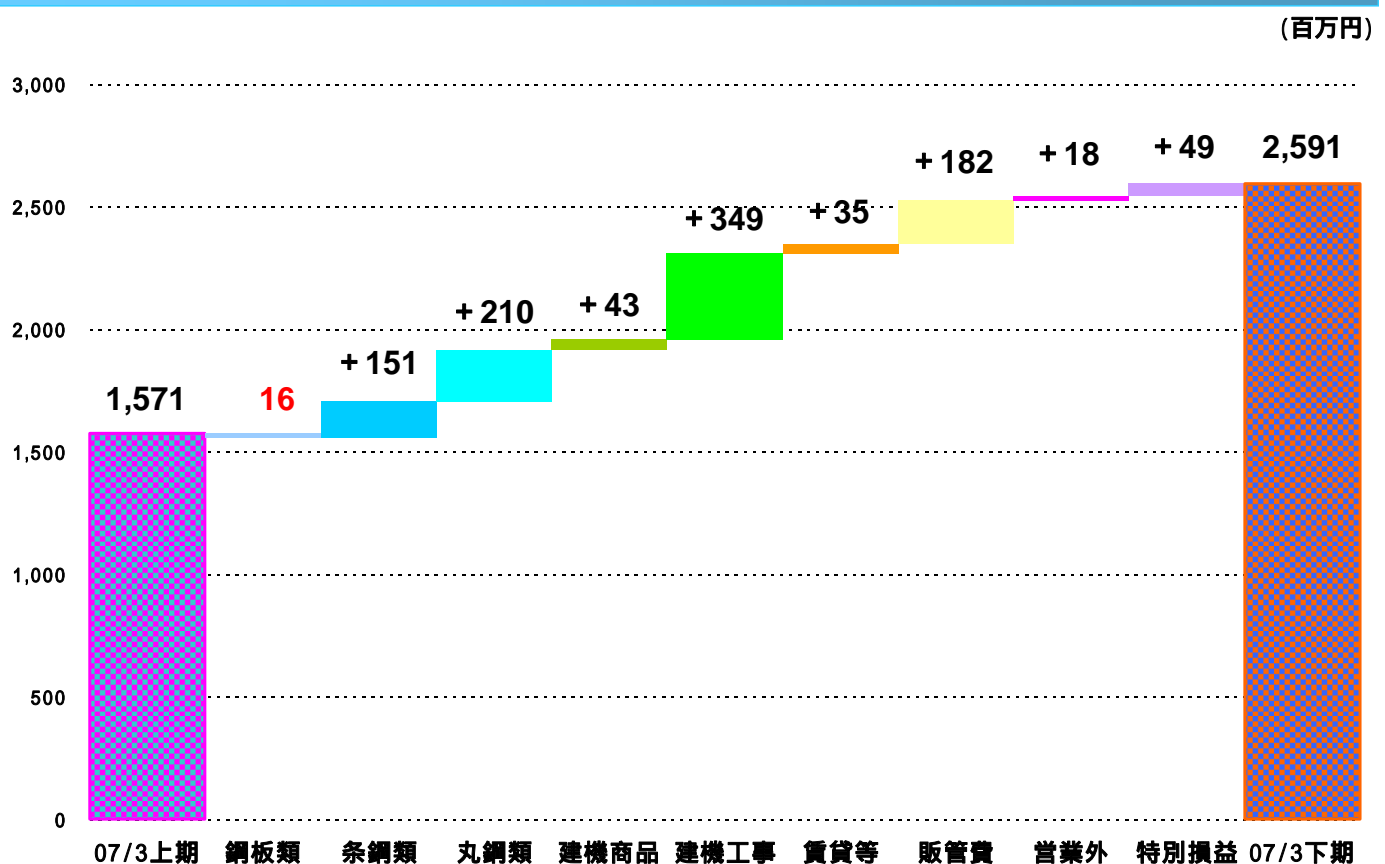
(百万円)

計画数値は2006年11月13日中間決算発表時のもの



3

2007年3月期総括 税引前利益07/3上期・下期の変化要因



(百万円)



4

連結損益計算書(解説)

- 売上高
 - 鉄鋼商品の販売数量の増加、販売単価の上昇によるもの
 - 工事請負事業においては、鉄骨工事が伸長
- 販売費および一般管理費
 - 運賃・人件費等の増加によるもの
- 特別損益
 - 貸倒実績率見直しによる、貸倒引当金戻入(特別利益)の発生
 - 福岡支店移転計画による現社屋の減損損失(特別損失)の発生

連結損益計算書(数表)

	06/3実績	07/3実績	08/3上期計画	08/3下期計画	08/3通期計画
	(百万円)				
売上高	117,764	132,658	65,907	70,882	136,789
売上原価	109,293	123,113	61,081	65,802	126,883
売上総利益	8,471	9,544	4,826	5,080	9,906
販売費及び一般管理費	4,306	4,622	2,600	2,556	5,156
営業利益	4,168	4,923	2,226	2,523	4,749
営業外収益	229	216	121	55	176
営業外費用	39	26	23	20	43
経常利益	4,357	5,112	2,325	2,557	4,882
特別利益	199	340	-	-	-
特別損失	276	1,291	-	-	-
税引前当期純利益	4,281	4,162	2,325	2,557	4,882
法人税・住民税及び事業税	1,752	1,745	1,000	1,099	2,099
当期純利益	2,528	2,416	1,325	1,458	2,783

品種別販売状況

鉄鋼・建材商品販売事業

- 鉄鋼商品の販売数量増加(特に東京支店)によるもの
 - 今後も関東以北エリアでの九州スタイル(品揃えの拡充)を推進する
- マンション等、民間需要を中心に丸鋼類の販売数量増加
 - 需要環境は地域差があるものの、当面好調に推移する見込み

工事請負事業

- コメリ九州流通センター等、大型物件の完工によるもの
 - 08/3期も、九州労災病院(鉄骨10億円)等順調に推移
- 外壁(ALC)工事も鉄骨工事と複合的に受注し増加するなど、今後も請負金額、物件数ともに増加傾向となる見込み

連結セグメント別販売計画

(百万円・千トン)

		06/3実績	07/3実績	08/3上期計画	08/3下期計画	08/3通期計画
鉄鋼・建材 商品販売事業	鋼板類	36,263	37,437	19,021	20,532	39,555
	(販売数量)	507	525	270	283	553
	売上総利益	2,636	2,960	1,544	1,572	3,117
	条鋼類	31,619	36,773	18,907	19,353	38,263
	(販売数量)	396	445	222	231	454
	売上総利益	2,942	3,171	1,687	1,756	3,443
	丸鋼類	19,674	22,273	11,737	11,959	23,698
	(販売数量)	324	357	183	190	374
	売上総利益	1,133	1,170	579	589	1,169
工事請負事業	建設機材商品	8,858	10,921	4,823	5,630	10,453
	売上総利益	406	459	231	269	501
工事請負事業	建設機材工事	20,651	24,531	11,053	13,048	24,102
	売上総利益	907	1,315	548	658	1,206
不動産 賃貸等事業	その他事業収入	696	721	363	354	718
	売上総利益	445	467	235	234	471
合計	売上高	117,764	132,658	65,907	70,879	136,789
	(販売数量)	1,228	1,327	676	705	1,381
	売上総利益	8,471	9,544	4,826	5,079	9,906

連結貸借対照表(解説)

• たな卸資産

- 仕入価格上昇の局面において、在庫の拡充に注力
 - 今後も福岡ヤード拡大移転、仙台ヤード新設により、在庫能力が向上
市況トレンドが変化無ければ、在庫は増加傾向

• 短期借入金

- 3/31の期末日が休日のため、借入金に変化は無いが、実質、70億円程度の短期借入あり
 - 在庫の増加およびヤード建築費の支出の影響によるもの
08/3下期以降、暫時減少傾向となる見込み

連結貸借対照表(数表)

各詳細項目は主要項目のみを記載しております (百万円)

	06/3実績	06/9実績	07/3実績	08/3計画
流動資産	53,216	55,523	64,743	55,498
現金及び預金	996	2,266	2,164	1,200
受取手形及び売掛金	41,626	43,467	52,923	43,918
たな卸資産	9,772	7,633	8,653	8,830
固定資産	16,982	19,868	20,552	21,571
有形固定資産	14,566	17,181	17,725	18,810
投資その他の資産	2,318	2,595	2,747	2,690
資産合計	70,198	75,391	85,296	77,069
流動負債	31,487	36,192	44,986	35,804
支払手形及び買掛金	25,253	29,716	37,729	26,804
短期借入金	4,000	2,300	4,000	5,900
固定負債	1,043	1,076	1,082	1,189
負債合計	32,531	37,268	46,069	36,993
株主資本	37,112	37,697	38,786	39,638
資本金	3,301	3,358	3,358	3,358
自己株式	538	538	647	649
純資産合計	37,667	38,123	39,226	40,076
負債・純資産合計	70,198	75,391	85,296	77,069

販売管理費・設備投資・減価償却費(解説)

● 販売費および一般管理費

- 販売数量の増加(1228千トン 1327千トン)にともない運賃が増加
 - 在庫出荷比率を高め、利益率の向上をはかる
- 連結従業員数増加(335名 346名)にともない人件費が増加
 - 毎期10~20名の新卒採用、および同業他社からの中途採用にも注力

● 設備投資

- 福岡支店拡大移転、仙台営業所ヤード新設により大型投資は一巡
 - 地方の中小型ヤード等、複数の拠点でヤード構想中
- 減価償却費も08/3下期以降増加する見込み
 - 08/3(半期50百万円増)09/3以降(通期98百万円増)
 - 福岡ヤード7月・仙台ヤード8月完成のため、08/3期は7~8ヶ月間の発生

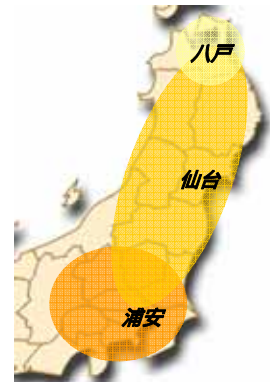
販売管理費・設備投資・減価償却費(数表)

	06/3実績	07/3計画	07/3実績	08/3計画
	(百万円)			
販売費及び一般管理費	4,306	4,596	4,622	5,156
運賃	1,252	1,352	1,445	1,549
貸倒引当金繰入額	87	200	1	300
貸倒損失	-	-	-	-
人件費	1,723	1,838	1,836	1,910
租税公課	156	160	192	162
設備投資	462	150	4,767	1,800
長崎支店賃貸物件	287	-	-	-
小倉支店賃貸物件	131	30	29	-
福岡支店土地	-	-	3,109	-
福岡支店建築	-	-	507	1,015
仙台営業所土地	-	-	863	-
仙台営業所建築	-	-	241	493
減価償却費	308	300	327	370

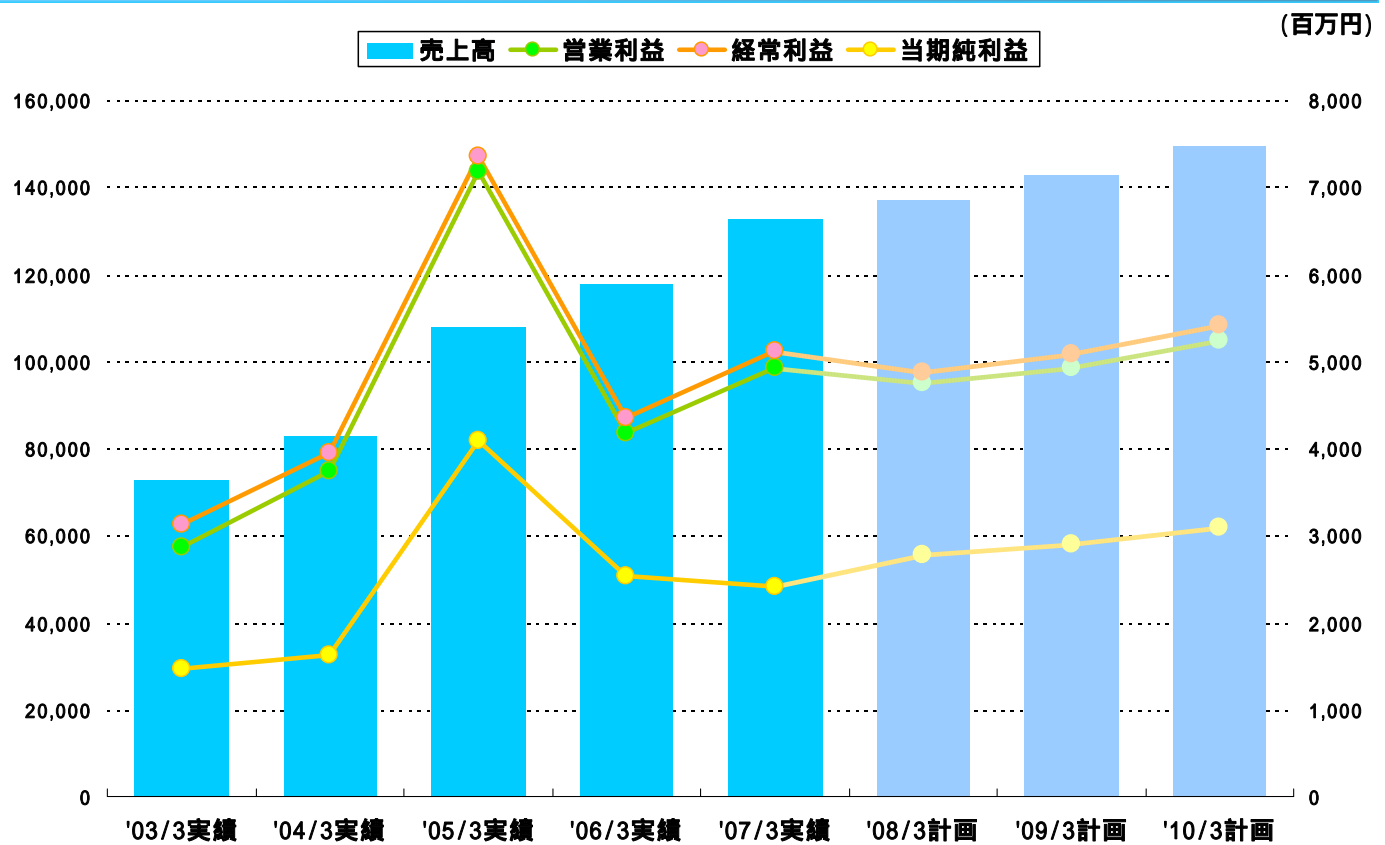
- 鉄鋼商品の市況は強含みで推移
 - － メーカー主導の価格上昇は継続、スクラップ価格も下落の兆候は無い
 - － 中国など輸入商品は高止まり傾向、輸入しづらい状況は続く
 - － 品種ごとに需給のタイト感に相違、例)厚板 超タイト
- 仕入数量の確保と価格転嫁が課題
 - － 売れるものを買える力の差(仕入力)が利益率向上の鍵
 - － 在庫能力の増加を契機に仕入枠の拡大をはかる
- 需給環境は、設備投資・住宅投資ともに順調
 - － 鉄鋼・建材ともに複合的な受注に注力
 - － 引き続き、ユーザー志向の川下戦略、工事物件を絡めた販売を展開

基本事業戦略における地域戦略

- 関東以北の戦略
 - － 仙台ヤードが07年9月に完成(下期より本稼働)
 - 浦安 = 仙台 = 八戸とトラック便・在庫の連携が出来る
 - － 東北一円へのルート便の設定が可能になる
 - 浦安センターは現状、在庫・入出荷ともフル稼働状態、東北向けの在庫出荷分を関東近郊に振り向ける
 - － 関東方面へ向けても仙台ヤード在庫を活用
- 九州の戦略
 - － 福岡ヤードが07年7月に拡大移転(旧倉庫は賃貸へ)
 - 九州西岸から南九州方面を網羅するマザーヤード完成
 - － 福岡・小倉メインヤードとサテライト的に九州全域をカバー
 - 九州でのダントツのシェア40%を目指して、鉄骨工事の受注に注力し、鉄と建材のシナジーを追求する
 - － 熊本も含め、南九州エリアは小野建の浸透度も浅く、拡販を目指す



中期連結財務計画(グラフ)



15

中期連結財務計画(数表)

(百万円)

	03/3実	04/3実	05/3実	06/3実	07/3実	08/3計	09/3計	10/3計
売上高	72,581	82,899	108,053	117,764	132,658	136,789	142,909	149,609
売上総利益	6,474	7,890	11,495	8,471	9,544	9,906	10,323	10,816
営業利益	2,872	3,746	7,175	4,168	4,923	4,707	4,930	5,247
営業利益率	4.0%	4.5%	6.6%	3.5%	3.7%	3.4%	3.4%	3.5%
経常利益	3,127	3,949	7,355	4,357	5,112	4,840	5,081	5,412
経常利益率	4.3%	4.8%	6.8%	3.7%	3.9%	3.5%	3.6%	3.6%
当期純利益	1,468	1,617	4,096	2,528	2,416	2,759	2,896	3,085
EPS	75.89	84.23	212.99	129.12	119.0	137.60	140.83	150.14
配当性向は単体								
配当性向	27.41	31.99	22.86	29.50	30.5	-	-	-



16